



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

福

上場会社名 株式会社Misumi

上場取引所

コード番号 7441

URL <https://kk-misumi.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 平田 慶介

問合せ先責任者（役職名） 取締役サポート本部長（氏名） 今林 俊人（TEL）099-260-2213

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	28,849	△0.7	121	210.7	310	8.1	170	△60.0
2025年3月期中間期	29,040	0.6	39	—	287	119.6	426	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 871百万円（—％） 2025年3月期中間期 △45百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	29.91	—
2025年3月期中間期	74.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	42,210	20,696	48.3
2025年3月期	41,626	19,992	47.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 20,382百万円 2025年3月期 19,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	25.00			
2026年3月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	64,998	4.2	886	9.7	1,252	△6.7	628	△39.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	6,100,503株	2025年3月期	6,100,503株
2026年3月期中間期	407,769株	2025年3月期	395,169株
2026年3月期中間期	5,699,207株	2025年3月期中間期	5,725,914株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位で掲記することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が進む一方で、食料品を中心とした物価上昇の継続により、個人消費は低調に推移しました。また、中東情勢の緊迫化等による地政学的リスクの高まりや米国の関税政策による景気後退への懸念等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を両輪とした経営戦略を推進しております。「既存事業の強化」では、主力のエネルギー事業において、研修会等の社内教育充実による従業員のスキルアップを図ることで、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する営業活動を強化し、燃料油・L P ガスの販売シェア拡大に努めております。「新規事業の開拓」では、新業態として、フード&ビバレッジ事業において「韓井」、ライフスタイル事業において「駿河屋」への参入を行う等、多様な消費者ニーズの変化に対応した店づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、石油製品やL P ガスの販売数量が減少したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は288億49百万円（前中間連結会計期間比0.7%減）となりましたが、収益状況の改善等により、経常利益は3億10百万円（前中間連結会計期間比8.1%増）となりました。しかしながら、前期に保有株式の売却益が発生したことや、税金費用が増加したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は1億70百万円（前中間連結会計期間比60.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、S S 事業において、販促アプリを活用したユーザーの囲い込みや集客イベントの開催等により、燃料油の売上確保に努めました。また、油外商材の収益確保を目的とした研修会を実施することで、従業員のスキルアップや営業力強化を図りました。

ガス部門では、新規開拓と共納先のシェアアップによるL P ガスの販売強化を図るとともに、採算販売にも注力することで利益確保に努めました。また、補助金等を活用したリフォーム受注、住設機器販売の販促活動を強化することで収益の確保に取り組んでおります。

以上の結果、石油製品やL P ガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は215億41百万円（前中間連結会計期間比2.6%減）となりましたが、収益状況の改善により、セグメント利益（営業利益）は2億4百万円（前中間連結会計期間比20.5%増）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材の展開を強化するとともに、アニメ化作品を中心にコミック売上の底上げに努めました。また、SNS等を活用した情報発信や人気商材のPOPUPイベントを行うことで、お客様への訴求を強化いたしました。

オプシアミスミでは、SNS等のデジタル広告の活用や、ワークショップ・ステージイベント等を開催することで来店動機を促すなど、集客力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は36億66百万円（前中間連結会計期間比2.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は前期に新規事業の準備費用が発生したこと等により、83百万円（前中間連結会計期間比230.7%増）の大幅増加となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗イメージの刷新を目的とした店舗改装を進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、2025年6月には宮崎県延岡市にK F Cイオン延岡店を新規オープンいたしました。

以上の結果、売上高は36億41百万円（前中間連結会計期間比8.7%増）となりましたが、店舗数増加や店舗の改装費用等で経費が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は2億47百万円（前中間連結会計期間比5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当中間連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて5億84百万円増加し、422億10百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、有形固定資産や投資有価証券が増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億19百万円減少し、215億14百万円となりました。これは主に、借入金や繰延税金負債が増加する一方、買掛金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて7億3百万円増加し、206億96百万円となりました。これは主に、その他投資有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、固定資産の取得10億69百万円、仕入債務の減少6億94百万円及び法人税等の支払い1億98百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少15億35百万円、減価償却費4億5百万円及び借入金の増加3億83百万円等の資金の増加により、前連結会計年度に比べ4億2百万円増加し、当中間連結会計期間は47億15百万円(前中間連結会計期間比1.0%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加額は、12億98百万円(前中間連結会計期間比476.4%増)となりました。これは主に、仕入債務の減少6億94百万円及び法人税等の支払い1億98百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少15億35百万円、減価償却費4億5百万円及び税金等調整前中間純利益3億19百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少額は、11億11百万円(前中間連結会計期間比224.0%増)となりました。これは主に、固定資産の取得10億69百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加額は、2億15百万円(前中間連結会計期間比50.2%減)となりました。これは主に、配当金の支払い1億42百万円等の資金の減少がありましたが、借入金の増加3億83百万円の資金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2025年5月13日発表から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,144	5,542
受取手形、売掛金及び契約資産	6,090	4,560
商品及び製品	3,186	3,224
仕掛品	20	6
原材料及び貯蔵品	20	21
その他	627	651
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	15,086	14,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,037	5,920
土地	11,763	12,519
その他(純額)	1,444	1,434
有形固定資産合計	19,246	19,875
無形固定資産		
のれん	1,056	970
その他	114	108
無形固定資産合計	1,170	1,078
投資その他の資産		
投資有価証券	3,980	5,063
その他	2,259	2,300
貸倒引当金	△116	△110
投資その他の資産合計	6,123	7,254
固定資産合計	26,540	28,207
資産合計	41,626	42,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,058	2,363
短期借入金	5,250	5,110
1年内返済予定の長期借入金	3,578	3,838
未払法人税等	225	131
賞与引当金	333	340
その他	1,360	1,257
流動負債合計	13,806	13,040
固定負債		
長期借入金	5,958	6,222
役員退職慰労引当金	213	220
その他	1,655	2,031
固定負債合計	7,827	8,474
負債合計	21,633	21,514

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690	1,690
資本剰余金	1,646	1,646
利益剰余金	15,411	15,438
自己株式	△699	△721
株主資本合計	18,048	18,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,515	2,250
退職給付に係る調整累計額	107	77
その他の包括利益累計額合計	1,623	2,327
非支配株主持分	321	313
純資産合計	19,992	20,696
負債純資産合計	41,626	42,210

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29,040	28,849
売上原価	23,060	22,615
売上総利益	5,979	6,233
販売費及び一般管理費	5,940	6,112
営業利益	39	121
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	67	78
受取賃貸料	112	114
その他	155	133
営業外収益合計	339	336
営業外費用		
支払利息	48	70
賃貸費用	22	22
固定資産除却損	13	46
その他	6	7
営業外費用合計	91	147
経常利益	287	310
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	175	13
特別利益合計	177	17
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	45	8
特別損失合計	45	8
税金等調整前中間純利益	418	319
法人税、住民税及び事業税	43	110
法人税等調整額	△52	41
法人税等合計	△8	152
中間純利益	427	167
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する中間純利益	426	170

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	427	167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△460	734
退職給付に係る調整額	△11	△30
その他の包括利益合計	△472	704
中間包括利益	△45	871
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△46	874
非支配株主に係る中間包括利益	0	△3

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	418	319
減価償却費	411	405
減損損失	45	8
固定資産除却損	13	46
のれん償却額	92	86
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	18	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△605	6
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10	△8
受取利息及び受取配当金	△71	△88
支払利息	48	70
固定資産売却損益(△は益)	△1	△3
投資有価証券売却損益(△は益)	△175	△13
受取保険金	△0	△2
売上債権の増減額(△は増加)	1,385	1,535
棚卸資産の増減額(△は増加)	3	△23
仕入債務の増減額(△は減少)	△654	△694
その他	△367	△158
小計	551	1,483
利息及び配当金の受取額	70	85
利息の支払額	△51	△73
保険金の受取額	0	2
法人税等の支払額	△345	△198
営業活動によるキャッシュ・フロー	225	1,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△7
定期預金の払戻による収入	12	12
固定資産の取得による支出	△711	△1,069
固定資産の売却による収入	2	6
投資有価証券の取得による支出	△17	△18
投資有価証券の売却による収入	251	20
差入保証金の差入による支出	△9	△10
差入保証金の回収による収入	3	2
その他	131	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343	△1,111

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200	—
短期借入金の返済による支出	△110	△140
長期借入れによる収入	2,300	2,600
長期借入金の返済による支出	△1,791	△2,076
リース債務の返済による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	△19	△21
配当金の支払額	△143	△142
非支配株主への配当金の支払額	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	432	215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	314	402
現金及び現金同等物の期首残高	4,448	4,313
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,762	4,715

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,126	3,563	3,349	29,040	—	29,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	37	—	46	△46	—
計	22,135	3,601	3,349	29,086	△46	29,040
セグメント利益	169	25	261	456	△417	39

(注) 1 セグメント利益の調整額△417百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△418百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて9百万円、「ライフスタイル」セグメントにおいて35百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,541	3,666	3,641	28,849	—	28,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	36	—	56	△56	—
計	21,561	3,702	3,641	28,905	△56	28,849
セグメント利益	204	83	247	535	△413	121

(注) 1 セグメント利益の調整額△413百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて8百万円を減損損失として特別損失に計上しております。